

給食費の改定についての説明資料

1 価格改定理由

① 献立の充実

前回価格改定後における食材価格の上昇などを受け、現行の給食費では魅力ある献立の作成が困難となっていること。

北センターの2献立やスチームコンベクションオーブン導入などにより、多様な献立ができる環境が整ったこと。

以上、食材の質と量の維持や向上など、献立の充実を図るもの。

② 公費負担分の軽減

平成28・29年度約7,000千円、平成30年度約14,000千円の一般会計からの繰り入れ額の低減を図るもの。

2 積算根拠

前回価格改定の平成26年度から令和元年度の主要給食食材費約100品目の物価上昇を比較した結果、5年間で約9.6%の物価が上昇しており、今後、現行の給食費で推移した場合、学校給食の質的量的低下が懸念される。

給食材料費は、その全額を給食費で賄うのが原則であるが、保護者負担への配慮も一定必要であることから、現行の学校給食の質と量を維持するために、県内や全国の給食費を考慮し、引上げ額は概ね6%とする。

生駒市 小学校4,150円 中学校4,550円 (現在)

生駒市 小学校4,400円 中学校4,800円 (改正後)

※全国平均 小学校4,343円 中学校4,941円 (平成30年度)

※県内最高 小学校4,500円 中学校4,800円 (令和元年度)

参考：◇牛乳 令和元年4月から1本当たり3.13円増(小・中共通)

◇米飯加工賃 令和2年4月から1食当たり2.32円増(小・中共通)

3 実施時期

実施時期 令和2年4月1日

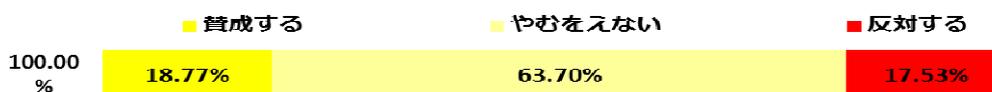
4 充実予定の主な食材内容

- コッペパンを変わりパン（米粉・黒糖パンなど）に変更する回数の増加
- ご飯を炊き込みごはんなどの変わりごはんに変更する回数の増加
- 豚肉を牛肉に、野菜の種類を追加するなど食材の充実
- フルーツ、納豆、ヨーグルト、ミックスナッツなどの回数の増加
- ジャム、ミルク、ふりかけなどの回数の増加

5 アンケート結果（保護者）

実施時期 令和元年 10 月 回答者：小・中の保護者 376 名

- ① 給食を充実させるために給食費の改定することについて、どう思われますか。



- ② 給食費改定分をどこの充実に充ててほしいと思われませんか？（複数選択可）

・変わりパン(米粉パン・黒糖パン・アップルパンなど)の回数を増やす



・炊き込みご飯の回数を増やす



・ジャムやふりかけの回数を増やす



・牛乳を飲みやすくするため、ミルクの回数を増やす



・魚や肉などの加工品のグレードを上げる



・牛肉の使用頻度を増やす



・魚や肉のサイズを大きくする、唐揚げなどの個数を増やす



・郷土料理・世界の料理など珍しい献立の回数を増やす



・野菜の種類や量を増やす



・果物やゼリーなどの回数を増やす



0% 10% 20% 30% 40%